

PAT-NO: JP362140948A
DOCUMENT-IDENTIFIER: JP **62140948 A**
TITLE: METHOD FOR SEPARATING IC PALLET

PUBN-DATE: June 24, 1987

INVENTOR-INFORMATION:

NAME COUNTRY
YOKOTA, RYUICHI

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME COUNTRY
SEIKO EPSON CORP N/A

APPL-NO: JP60279615

APPL-DATE: December 12, 1985

INT-CL (IPC): B65H003/48 , H01L021/68

US-CL-CURRENT: 271/98 , 414/797

ABSTRACT:

PURPOSE: To separate empty pallets securely and rapidly by providing air blow out devices on both sides of said empty pallets.

CONSTITUTION: Air blow out devices 1, 2 are provided on both sides of empty pallets 3 for a flat package IC. A pallet conveying device 4 adsorbs a pallet by means of a vacuum and moves the pallet. When the pallet conveying device 4 adsorbs an empty pallet 3 and separates it, air is blown out from the air blow out device 2. Thereby, adsorbing force between pallets is removed to facilitate the separation of the pallets.

COPYRIGHT: (C)1987, JPO&Japio

⑯ 公開特許公報 (A) 昭62-140948

⑯ Int.Cl. 4	識別記号	厅内整理番号	⑮ 公開 昭和62年(1987)6月24日
B 65 H 3/48	320	7456-3F	
// H 01 L 21/68		7168-5F	

審査請求 未請求 発明の数 1 (全2頁)

⑯ 発明の名称 IC用パレットの分離方法

⑯ 特願 昭60-279615

⑯ 出願 昭60(1985)12月12日

⑯ 発明者 横田 隆一 誠訪市大和3丁目3番5号 セイコーホーリング株式会社内
 ⑯ 出願人 セイコーホーリング株式 東京都新宿区西新宿2丁目4番1号
 会社
 ⑯ 代理人 弁理士 最上 務 外1名

明細書

1. 発明の名称

IC用パレットの分離方法

2. 特許請求の範囲

フラット・パッケージ用の空パレットを扱う装置に積み重ねられた空パレットの分離方法において、前記空パレットの両側にエアーの吹き出し装置を設け、前記空パレットの分離作業を行うことを特徴とするIC用パレットの分離方法。

3. 発明の詳細な説明

〔産業上の利用分野〕

本発明はフラット・パッケージ用の空パレットを扱う装置の空パレットの分離方法に関するもの。

〔発明の概要〕

本発明はフラット・パッケージ用空パレットを扱う装置に積み重ねられた空パレットの分離

方法において、前記空パレットの両側に、エアーの吹き出し装置を設け空パレットを分離しやすくするものである。

〔従来の技術〕

従来、フラット・パッケージ用の空パレットを分離する場合には、パレットの搬送装置を極めて低速で作動させていた。

〔発明が解決しようとする問題点〕

積み重ねられているエコ用空パレットを分離する時には、パレット間の吸着力のために分離がしにくくなっている。この吸着力は重ねられたパレット中心に空気が入りにくいために発生するもので、これにより空パレットの分離に支障があった。

〔問題点を解決するための手段〕

本発明はフラット・パッケージ用空パレットを扱う装置に積み重ねられた空パレットの分離方法において、空パレットの両側にエラーの吹き出し装置を設け、空パレットの分離作業を行なうこととする。

〔作用〕

パレットを分離する時にエアの吹き出し装置よりエアをパレット間に吹き込み空パレット間の吸着力を減少させる。

〔実施例〕

以下、本発明について実施例に基づいて詳細に説明する。第1図は、本発明の実施例である。

1及び2はエアの吹き出し装置、3はフラット・パッケージIC用の空パレットで積み重ねられている。4はパレットの搬送装置で真空によりパレットを吸着してパレットを移動させる。5はエアの配管パイプである。6のパレット搬送装置が、3の空パレットを吸着して分離する時に2のエアの吹き出し装置より、エアを吹き出す。このようにして、パレット間の吸着力を打ち消し、パレットを分離しやすくなる。

〔発明の効果〕

本発明は、以上説明したようにエアの吹き出し装置により、弱がれにくいフラット・パッケージICの分離を確実に、迅速にする効果がある。

4. 図面の簡単な説明

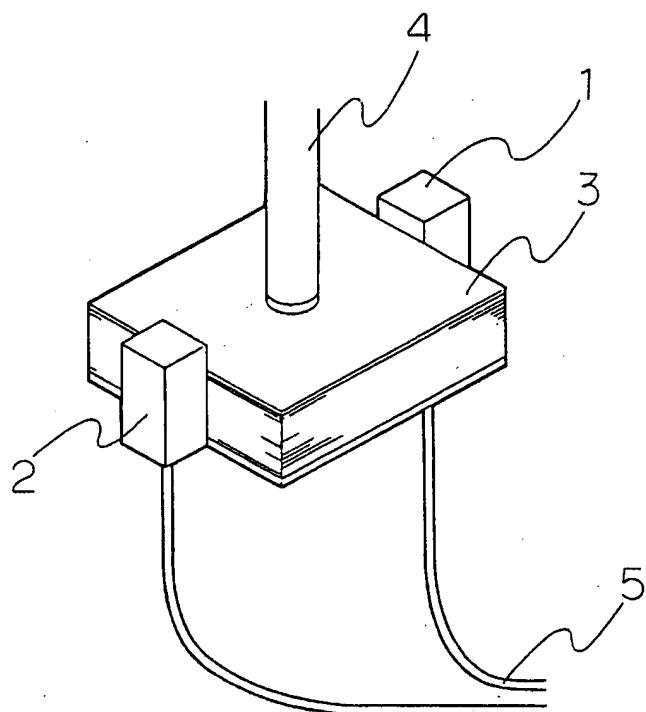
第1図は本発明の実施例を示す斜視図である。

- 1 …… エアの吹き出し装置
- 2 …… エアの吹き出し装置
- 3 …… 空パレット
- 4 …… パレットの搬送装置
- 5 …… 配管パイプ

以上

出願人 セイコーホーリン株式会社

代理人 弁理士 最上 務(他1名)



第1図